

平成23年度第2回経営協議会議事要録

日時 平成23年6月24日（金）10時

場所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出席 学内委員5名 欠席なし
学外委員5名 欠席1名

会議成立

開会10時

議事に先立ち、学長からあいさつの後、第1回本協議会開催以後の主要な取り組みとして、①静岡大学との共同大学院博士課程「共同教科開発学専攻」の設置にかかる状況、②来年度概算要求（組織改革・特別経費等）の検討状況、③愛知学長懇話会（5月14日開催）、④東海地区国立大学連携推進学長懇談会（5月20日開催）、⑤後援会総会（5月21日開催）、保護者懇談会（9月18日名古屋、10月23日本学）の試み、⑥知立市市議団との懇談（5月30日）、⑦宮城教育大学で開催された教育復興支援シンポジウムでの協議、被災地視察、⑧韓国で開催された東アジア教員養成国際シンポジウムへの出席、光州教育大学との学術交流協定締結、⑨国大協総会（6月22日開催）、⑩科学研究費補助金2011年度採択状況、⑪前年度比10%削減の節電対策、⑫今年度オープンキャンパスに向けての大学案内作成について報告があった。

また、今後対応すべき重要課題として、①運営費交付金と公務員給与10%削減への対応、②2010年度決算、③国立大学の機能強化について報告があった。

議題

1. 平成23年度第1回経営協議会議事要録の承認について

学長から提議され、原案どおりこれを承認した。

2. 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

学長から提議され、標記報告書は、平成22年度の業務の実績について、国立大学法人評価委員会に報告するものであることの説明の後、報告書の内容（大学の概要、全体的な状況、項目別の状況）、業務運営・財務内容等の状況及び特記事項について資料説明があった。

また、本日の意見を踏まえ、今後の役員会において最終決定し、6月30日までに文部科学省へ提出することについて説明があった。

これに対し、質疑応答の後、今後の修正等を含め、これを承認した。

○委員からの質疑等 ●大学側の回答

- 附属学校教員の超過勤務が累積し、労働基準監督署からは是正指導を受けた後、施設の時間外使用が続いているのはなぜか？
- 緊急のものについては管理監督者の了承のもとに時間外の施設使用を認めているものもある。残念ながら、研究会等の準備によりこうした事態が浮かび上がった。事態を早急に把握し対応したいが、聴き取りがまだできていないので詳しくはわからない。
- 問題は、たとえ学校で仕事しなくても家でやらざるを得ないことになるので、附属学校教員の勤務実態を正確に調べることが必要である。
- 仕分けして記録していきたい。附属学校教員は地域のリーダーとしての研究の附加業務もある。担当理事、附属学校部長中心にきちんと対応していきたい。
- 附属学校教員はほとんど公立学校との人事交流できている。勤務態様の特殊性

や地方公務員と国立大学法人との適用法令の違いから支障が生じている。教員の職務については健康管理の面からも業務の見直しが必要である。

- 施設整備の整備目的のカテゴリーの中で、「その他」に分類したものがあがるがどんな理由によるのか。
- 色々な目的に関わりがあり分類がしにくいので「その他」に分類した。
- 「その他」は曖昧である。それぞれ目的はあるはずなので、「その他」は使わない方がよい。
- 不明確ものについては検討のうえ、修正したい。
- 大学教育はとかく専門教育に偏りがちになるため、教員養成系大学だからこそリベラルアーツ型教育を全国に発信してほしい。
- 教員を育成するための柱が教養教育であると考えている。学生には問題の発見力、判断力、人間力を養ってほしい。

3. (1) 2011年度愛知教育大学予算の用途変更について

学長から提議され、白石委員から資料に基づき、①学生寮新営に係る経費を一時的に確保するため、人件費から物件費への用途変更分として計上すること、②目的積立金承認後は本経費と振り替えることの説明があり、これを承認した。

(2) 目的積立金の用途及び学生寮整備に係る資金計画について

学長から提議され、白石委員から資料に基づき、①目的積立金の用途としては、学生寮整備、他の教育研究環境整備（防災対策、耐震工事、建物改修、教育研究設備）であること、②学生寮整備に係る資金計画（運営費交付金債務の繰り越しを含む）の実施内容等について説明があり、これを承認した。

4. 2012年度概算要求について

学長から提議され、白石委員から、資料に基づき、今年度は概算要求に際しての基準が決まっていないこと及び東日本大震災の復興による予算の先行きが不明である旨の説明の後、①プロジェクト分・組織整備として、共同大学院博士後期課程の新設始め9件の事業について、②特別経費（基盤的設備等整備分）として、教育研究のためのクラウド型デスクトップ環境基盤の整備始め2件の設備等について、③施設整備費として、総合研究棟始め17件の事業について、それぞれの要求順位、事業概要、要求額等の説明があり、質疑応答の後、これを承認した。

○委員からの質疑等 ●大学側の回答

○本部棟はかなり古いようであるが、新築ではなく改修となるのか。

●鉄筋の場合は60年が耐用年数となっていて、当面は耐震改修で要求することとなる。

○民間の場合は、震災が発生すれば事業継続が最重要課題となるが、大学の場合、安否確認、備蓄品、帰宅困難者等への対応はどう考えているのか。

●現在、WGを立ち上げて検討を始めている。関係課で緊急地震速報に併せて緊急連絡・安否確認サービスのシステムの導入についても試算している。大学用の備蓄倉庫のほか近隣住民避難用の備蓄品倉庫もある。

5. 平成22年度決算について

学長から提議され、白石委員から、資料に基づき、①2010年度財務諸表全体の特徴、②2009年度と2010年度の比較（貸借対照表、財産分析、損益計算書、人件費分析、常勤大学教員数の推移、教育研究経費等分析、収益分析、キャッシュ

フロー計算書、業務実施コスト)、③2010年度収入・支出、財務諸表のまとめ、2011年度の主な財務計画について説明があり、これを承認した。

6. 学生寮の新営及び改修について

学長から提議され、白石委員から、資料に基づき、既存の学生寮(男子寮2棟、女子寮3棟)の状況、学生寮を1棟新築したいこと、あわせて既存学生寮も順次改修し、居住空間の全体的な環境改善を図りたいことの説明があった。また、新棟にかかる見積もり額、目的積立金の承認時期、予算流用等についても説明があった。

これに対して、質疑応答の後、これを承認した。

○委員からの質疑等 ●大学側の回答

○女子寮で、共用使用の洋式トイレは不満がでる。また、化粧台は必要である。

●新棟については、個別にユニットバスをつけるため、他の人との共用使用はない。化粧台については、ミラーをつける予定である。既存の寮の改修時には参考にしたい。

○入居の需要はあるのか

●満室である。

○寮費は値上げするのか

●その予定。

報 告

1. 学長補佐の任命について

学長から、6月1日付けで学長補佐(大学改革担当)として人文社会科学系 清田雄治教授を任命したことの報告があった。

2. 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について

学長から、資料に基づき、標記の評価結果が5月24日付けで国立大学法人評価委員会より正式に通知され、評価(原案)どおり変更はなかった旨の報告があり、これを了承した。

3. 東日本大震災による被災学生等に対する特別措置のための規程等の一部改正について

学長から、資料に基づき、標記について特別措置により対応している旨の報告があり、これを了承した。

4. 2010年度資金管理及び運用実績について

白石委員から、資料に基づき、国庫短期証券等による資金運用実績について報告があり、これを了承した。

5. 2011年度資金管理及び運用について

白石委員から、資料に基づき、定期預金等による本年度の資金運用について報告があり、これを了承した。

6. 資産除去債務の計上について

白石委員から、資料に基づき、計上の対象となるもの、計上金額等について報告があり、これを了承した。

7. その他

(1) 東海地区国立大学法人の事務連携について

学長から、本年2月に名古屋大学の呼びかけで事務連携にかかる会合が発足し、5月20日には学長、事務局長が出席し、共同事務等の検討を行っていくこと、次回は8月2日に開催予定であること等の報告があった。

(2) 次回の開催日について

学長から、7月下旬から8月上旬の間で日程照会中であること及び顧問会議との合同会議としたい旨の報告があった。

閉会 12時